

●演習ワークシート

事例 1

症例：8 歳，女兒（入院中），体重 21 kg

交通事故による十二指腸穿孔に対して，穿孔部の縫合閉鎖手術を受けた。
術後は 2 週間の絶飲食が予定され，術後 3 日目より高カロリー輸液が開始された。
現在術後 4 日目で，全身状態は安定している。

意識	呼吸数	SpO ₂	血圧	脈拍数
清明	20 回/分	98%	96/54 mmHg	108 回/分

口腔粘膜の乾燥なし，ツルゴール低下なし
眼瞼陥凹なし，四肢は温かい

高カロリー輸液持続点滴

投与速度	投与量	投与エネルギー量
20 mL/時間	480mL/日	493.5 kcal（23.5 kcal/kg）

※投与水分量はその他の輸液で調整している

演習課題 1

手順書に従って，高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・問題点
- ・病状の範囲
- ・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 2

症例：3 歳，女兒（在宅），体重 11.5 kg

ヒルシュスプルング病類縁疾患で，トライツ靱帯から 50 cm の部位に腸ろうが造設されている。
経口摂取と夜間の高カロリー輸液が行われている。
食事の摂取量や腸ろうの排液量は変わらないが，この 4 か月体重増加が得られていない。

意識	呼吸数	SpO ₂	血圧	脈拍数
清明，活気あり	24 回/分	97%	98/60 mmHg	112 回/分

口腔粘膜の乾燥なし，ツルゴール低下なし
眼瞼陥凹なし，四肢は温かい

夜間の間欠的高カロリー輸液

18～19 時	19～翌 9 時	9～10 時
35 mL/時間	70 mL/時間	35mL/時間

投与エネルギー量：583 kcal（51 kcal/kg）

投与水分量：1050mL（91 mL/kg）

演習課題 2

手順書に従って，高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・問題点
- ・病状の範囲
- ・特定行為内容

●演習ワークシート

事例 3

症例：3 歳，女児（在宅），体重 11.5kg

ヒルシュスプルング病類縁疾患で，トライツ靱帯から 50 cm の部位に腸ろうが造設されている。
経口摂取と夜間の高カロリー輸液が行われている。
最近，腸ろうからの排液が多く，1000 mL/日を超える日が続いている。

意識	呼吸数	SpO ₂	血圧	脈拍数
清明	24 回/分	97%	98/60 mmHg	123 回/分

口腔粘膜の乾燥あり，ツルゴール低下軽度あり眼瞼陥凹軽度あり，四肢は温かい。

夜間の間欠的高カロリー輸液

18～19 時	19～翌 9 時	9～10 時
35 mL/時間	70 mL/時間	35mL/時間

投与エネルギー量：583 kcal（51 kcal/kg）

投与水分量：1050mL（91 mL/kg）

演習課題 3

手順書に従って，高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

- ・問題点
- ・病状の範囲
- ・特定行為内容

手順書

持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. 栄養状態の悪化が認められる場合
2. 脱水が疑われる場合
3. 持続点滴が長期に及ぶ場合

病状の範囲外

不安定
緊急性あり

担当医師の携帯電話に直接連絡

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識状態の変化なし
- ☐ バイタルサインの変化なし
- ☐ SpO₂ ≥ 92%

病状の範囲内

安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識状態の変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ SpO₂（過剰輸液による肺水腫の懸念）
- ☐ 血糖値（糖負荷による影響のチェック）
- ☐ 刺入部の状態（発赤，出血，感染徴候など）

どれか一項目でもあれば，下記の確認をして担当医に連絡

- ☐ 血圧
- ☐ SpO₂
- ☐ 血糖値

担当医師の携帯電話に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師

【特定行為を行ったあとの医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡
2. 診療記録への記載

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

演習課題 1

手順書に従って、高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

・問題点

・病状の範囲

・特定行為内容

●演習ワークシート

演習課題 2

手順書に従って、高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

・問題点

・病状の範囲

・特定行為内容

●演習ワークシート

演習課題 3

手順書に従って、高カロリー輸液の投与量の調整について以下の項目に沿って考えてみましょう。

・問題点

・病状の範囲

・特定行為内容